

令和4年3月15日

発 言 者	発 言 要 旨
石黒委員	<p>今回、やまがたの農林水産物を活用した情報発信推進に係る予算を取り下げたことについて、3日間にわたる常任委員会の審査を受けて真摯に受け止められたと理解するが、今後進めていくのかどうかも含めて、考えはどうか。</p>
農林水産部長	<p>この度、議会の意見を真摯に受けとめ、果樹王国情報発信の拠点施設の整備については、これに関する予算を取り下げることにした。今後の事業のあり方については、改めて検討を行い、県議会にも十分報告のうえ、丁寧に進めていきたい。</p>
石黒委員	<p>進め方についての意見が最も多かったと思っており、県民に開かれた形での議論をしっかりと進め、議会にもしっかりと報告しながら意見を求めて進めていくことが必要である。そのうえで、本県の果樹王国やまがたに向かう施設として、当該施設は必要なものなのだというので、私としては進めてもらいたいということをお願いしておく。</p>
農林水産部長	<p>さくらんぼをはじめとする県産果物の情報を県内外に発信していくことの重要性については、議会からも指摘をもらっており、大変重要なことだと思っている。今後の事業のあり方については改めて検討し、県議会にも報告のうえ、丁寧に進めていきたい。</p>
島津委員	<p>これから検討することについてはやぶさかではなく、情報発信事業という部分については大事なものだろうという共通認識は持っているが、ハコモノありきではなく、しっかりと議論していかないといけない。今後ハコモノにつながっていくようなことであれば、私としては、効果的な情報発信にはなり得ないと思うということをお願いしておく。</p>
矢吹副委員長	<p>情報発信の重要性は認識しているが、情報発信施設として25億円のハコモノということが問題である。それが必要不可欠のものかどうか県民の理解を得られるのかが問題である。施設と言っても大小いろいろあるが、それも含めて、ゼロベースで考え直すということによいか。</p>
農林水産部長	<p>議会からの意見を真摯に受け止め、今回の果樹王国情報発信の拠点施設の整備については、これに関する予算をすべて削除した。そのうえで、情報発信の必要性を幅広く議論し、また、議会にも報告しながら丁寧に進めていきたい。</p>
石黒委員	<p>半導体の遅れについて、発注からどのくらいかかっているのか。目途がついているのか。</p>
参事(兼)森林ノミクス推進課長	<p>森林研究研修センターのトラック関係について、当課から会計課に物品購入依頼を5月に出し、業者を決定して発注したのが9月となっている。当初は12月末の納車の予定であったが、コンピューター関連の部品が届かないということがあり、4月頃の納車となっている。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
園芸農業推進課長	園芸関係については、朝日町で予定しているりんごの出荷施設があるが、半導体関係の目途は立っている。
農村整備課長	半導体関係では、水利施設緊急整備事業であるが、最上川下流のところで水利施設の監視の情報処理装置の更新を予定していたが、もともとの工期が3月までであったところ、約3箇月遅れる見込みとなっており、工期を6月まで延ばすことで対応できる。
島津委員	繰越しになった結果、農林漁業者に迷惑がかかるような事業はあるのか。
園芸農業推進課長	この度繰越しした施設はりんごの出荷施設であるが、7月には確認も終わる計画となっており、今年産のりんごの収穫には十分間に合う。
水産振興課長	工事の内容が長寿命化や安全対策であり、水産業の生産行為に関わるものではないため、直接の影響はない。
森林経営・再造林推進主幹	林業関係では、森林整備の繰越しがあるが、事業着手前の伐採区域の確認に時間を要したもので、雪解け後直ちに現場に入るということで影響はない。
農村防災・災害対策主幹	繰越し案件のうち、かんがい用水、用水路の農業用水関係については、かんがい期間を外した10月から現場に入るという案件であるが、営農への影響はない。
矢吹副委員長	林業において技術者不足と聞くが、状況はどうか。
森林保全主幹	主に型枠工事の専門的技術者が不足しているという状況が見られた。地域としては村山管内であるが、令和2年7月豪雨の災害復旧にかなり人手がとられており、新しい工事に人手が回らないという状況が発生していたようである。